

オカピ通信

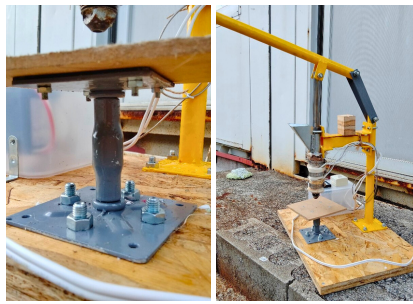
第4号
(2023年9月
活動まとめ)

より使いやすく、頑丈に

二代目卓上射出成型機を作りました

第2号で紹介した卓上射出成型機を作り直しました。今後はこのマシンが、イベント等に登場する予定です。

▽ドリルスタンドという工具を改造して作った初代は、鉄の帯でできたレバーがねじれてしまっており、押すときに手が痛い、という声も上がっていました。この二代目では、細い単管パイプをレバー



右=機械の全容。黄色に塗装しました。
左=金型を上げ下げする「束」。

▽この二代目と共に、早速工作体験を提供してきました。体験したのは幼稚園の年長さん。プラスチックの性質を学びながら、スムーズに機械を操作してくれました。

▽それにしても、「二代目卓上射出成型機」という名前は長いですね。もっと親しみやすい名前を付けたいと思っています。

にすることで、より頑丈で、手にやさしくなっています。材料の投入口も大きくして、使いやすくなりました。

▽材料のプラスチック片を溶かす時間も短縮されました。キーホルダーひとつ分の材料を溶かすのに今までは5分ほどかかっていましたが、3分ほどになりました。金型の脱着も「束」を用いることでスムーズになりました。

キャップの回収 休止します



ペットボトルキャップの回収を休止しました

いつもご協力いただきありがとうございます。
多くのキャップが集まったため、しばらくのあいだペットボトルキャップの回収をお休みいたします。

ご質問等は、サキガケ日置市(移)民 岡田香織
(080-256-3746)までお問い合わせください。

オカピが日々製品や試作品づくりの材料として使っているペットボトルのキャップは、市役所・支所等に設置している回収箱に地域の皆さんが入れてくださったものです。猛暑の影響もあるのか、この夏は多くのキャップを回収することができました。数か月分のキャップがたまりましたので、一度キャップの回収をお休みすることにしました。

▽皆様のご協力に感謝すると同時に、大量のペットボトルが消費されていることも実感します。リサイクルにもエネルギーが使われます。自分はどう振り返ってみるのかもしれないですね。

各地区公民館に掲出

オカピ通信を地域の方にも

今月から、日置市にある30の中央公民館・地区公民館で、オカピ通信を掲示させてもらっています。サキガケ日置市(移)民(地域おこし協力隊)のオカピがどんなことをしているのか、何を考えているのか、公民館を利用する地域の方に見ていただけると嬉しいです。

▽掲示をお願いするために、全ての公民館を車で回りました。廃校を活用した公民館が多く、子供が減っていることを感じました。初めて訪れる地域も多く、まだまだ日置市ビギナーであることを実感しました。

考え中！ 身につけたい技術は？

ブラごみの小規模なりサイクルに取り組んで1年以上が経ちました。機械を作ったり、ワークショップをしたり、製品を販売したり、その全てで技術不足を痛感する日々です。これから、何に特化するのかがよいのか、そのためにどんな技術を身につけたらいいのか。何となく念頭に置きながら過ごしています。

▽最近ではオリジナルグッズを作りたい、というお声かけをちらほら頂きます。そのために必要なのは金型ですが、手作りの再生プラ製品づくりに適した金型を作る段階がハードルとなることが多いです。金型のデザインと加工を集中して学ぶのもアリかも、と思う今日この頃です。

オカピの目

プラスチック問題のことを考えると、プラごみはなるべく減らしたいもの。そして、家庭から出るプラごみの多くは食品の容器包装です。これは「ばら売り」や「量り売り」で買い物をするので減らせません。

▽これらの売り方は、地域で作られたものを売ること適しています。生産したものを、包装しなくてもお店に運べるからです。

▽地元で作られたものを、ごみを出さずに買えるお店があるといいですね。オカピ通信を配布した公民館の方と、そんなお話をしたりもしました。

製作：岡田香織(オカピ)

(サキガケ日置市(移)民)

意見等はokadakaori.p@gmail.com #kpc